

各回の概要：

第1回：それぞれの「現在地」を知ろう

今の自分に足りない「何か」を探るために、講師が水先案内人となって、悩みや思い、経験を共有していきます。その後、「日本語教育人材」について改めて学び（学びほぐし）、第2回～第4回の内容につなげることを目指します。

第2回：「言語教育者としての態度」の観点から考えてみよう

言語教育者として成長していくためには、立場や役割の変化が伴います。第2回では言語教育者として成長していくためにどのような技能、知識が求められるのか、またそれらはどのような経験で培えるのかを具体的に考えていきます。

第3回：「学習者に対する態度」の観点から考えてみよう

担当した学習者が学びに向き合っているかと考えてみると、もっと自分にできることがあるように感じます。第3回では、よりよい形で学習者の学びを支援し、共に問題を解決していくために、どういったことを学び直すとよいか考えます。

第4回：「文化多様性や社会性に対する態度」の観点から考えよう

对学习者の文化多様性はわかりやすいですが、実はそれだけではありません。第4回では、日本語教育というお仕事を進めるうえで考えるべき文化多様性・社会性について、知っておくとよい知識や身につけておきたい技能について考えます。

第5回：それぞれの「成長ルート」をイメージし、具体化しよう

第1回目から第4回目までに共有してきた事例を振り返りながら、「今のあなた」がこれから進もうとするルートを具体化していきましょう。現在地からさらに一步ふみ出すのは、今この瞬間です！

講師からひとこと：

石澤徹（東京外国語大学）

今回のイベントは、私自身が成長し続けるために学び直していく中で、他の4人の講師のお話をうかがったことに端を発します。背中を追いかけている先輩方のお話はこれから自分が何をしていくかの大きなヒントになりました。今回のイベントが皆さんご自身を成長に導くヒントとして背中を後押しできたら、と考えております。一緒に学び合い、成長していきましょう！

伊東克洋（東京外国語大学）

私はこれまで主に国内、国外（アメリカ）の高等教育機関で交換留学生や学部生に対する日本語教育を行ってきました。現在は学部進学予備教育に携わっています。私も経験年数が増えるばかりで、いつも「自分に足りないもの」から逃げてしまう日々です…。今回の企画ではぜひみなさんとそんな悩みを共有しつつ、ともに成長につながるような場が持てればと思っています。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています！

金子史朗（友ランゲージグループ校）

様々なことが大きく変化している今、「これからどこに向かって、どのように成長していったらいいんだろう？」という気持ちをお持ちの方も多いのではないのでしょうか。このイベントを通して共にそのヒントを探していきたいと思えます。ご参加お待ちしております。

松尾慎（東京女子大学）

日本語教師の成長には2つの面があると思います。一つは、多様な学習者や現場に対応できるティーチングの引き出しを増やしていくこと、もう一つは、教室の外に視野を広げ教室での実践そのものが社会的な営みとなるよう努めていくことです。参加者全員で対話しながらともに成長していきましょう。楽しみにしています。

横溝紳一郎（西南女学院大学）

日本語教師としての成長のきっかけは、実は私たちの身近なところにたくさんころがっています。きっかけとの出会いに感謝しながら、積極的に悪戦苦闘することで、これまでできなかったことができるようになり、これまで見えていなかった世界が見えてくるようになります。私たちと一緒に、最初の一步を踏み出しましょう！